

平成20年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	視覚障害者の就労の基盤となる事務処理技術及び医療・福祉・就労機関の連携による相談支援の在り方に関する研究
事業目的	多様な業務で求められる事務処理に関して、IT技術の活用により視覚障害者が対応できる幅が広がってきたが、それが関係の相談支援機関にまだ十分に周知されておらず連携支援が十分に行われていない。そこで、訪問調査による事例研究を通して、視覚障害者の事務処理の可能性と課題を明確にする。中途視覚障害者の就労継続を支援するために医療機関、就労支援機関等の支援の在り方を検討する。
事業概要	①学識経験者11名で構成する検討会を設置し、調査研究の方向付けとして、中途失明者の就労継続を柱に支援方策を検討した。②実務経験豊富な視覚障害リハビリテーション・職業リハビリテーション・視覚障害関係研究者、タートルの主要メンバー等の10名で構成するワーキンググループを設置し、働く視覚障害者について訪問調査を実施した。③セミナーを開催し、中途失明者の職場復帰について理解を深め、ロービジョンケアの中途視覚障害者の受障初期における障害受容に対する重要性の認識を深めた。
事業実施結果及び効果	訪問調査の事例報告とともに、医療の立場、社会的リハビリテーションの立場、職業リハビリテーションの立場、NPO法人タートルから、それぞれからの提言が報告書に取りまとめられた。 その研究成果を取りまとめた印刷物を医療、福祉、就労の各関係機関に配布するとともにホームページに掲載することにより、関係者に具体的参考材料を提供し、視覚障害者の円滑な就労移行及び復職のための相談支援に資する。
事業主体	特定非営利活動法人タートル